

第 24 回 千葉県作業療法士学会（WEB 学会）抄録作成ガイド

学会発表をしてみたいけど、どのように申し込みや抄録を作ったらよいか分からない方向けに抄録作成ガイドを作成しました。是非ご活用ください。

《発表までの流れ》

1. 応募の前に確認しよう！
2. 応募の準備をしよう！
3. さあ、応募しよう！

→**応募期間延長！：9月26日（月）まで**

1. 応募の前に確認しよう！

あわてて応募する前に、まず以下の内容を確認しましょう。

- 千葉県作業療法士会に入会している。

いいえ→HPを確認し、入会手続きをしましょう。

- 今年度の県士会費を納入している。

（研修受講カードに会費納入のシールが貼ってある、または会費納入時の領収書がある）

いいえ→年会費の納入手続きをしましょう。

- 発表内容が作業療法に関するオリジナルなもの（他の学会等で未発表のもの）である。

いいえ→発表は出来ません。他の内容で再検討してください。

- 対象者の同意が得られている。

いいえ→対象者の同意を得てください。本学会の学会長が、必要に応じて同意書の提出を求める場合があります。いつでも提出できる準備をしてください。

- 発表内容について、最大限の倫理的配慮がある。

いいえ→個人情報の保護、対象者への負担や不利益、著作権の侵害等が無いか見直しを
してください。

すべてに □があれば、次へ→

2. 応募の準備をしよう！

応募は Google フォームから行います。発表のデータが消えてしまう等のトラブル防止のため、まずはワードで本文を作成します。

◎抄録本文（Word 形式）の書き方◎

(1) どのような報告が良いのでしょうか？

- ・新しい作業療法介入を試みたもの
- ・過去に提示された方法や理論を適用し、その有効性を検証したもの
- ・支援・対応に苦慮した事例、工夫を重ねた事例
- ・多くの人が経験していないようなまれな疾患や症状、特別な背景や経過の事例

(2) 抄録の書き方とポイント

- ・発表には、「研究報告」と「事例報告」があります。
- ・自分の発表がどちらに該当するのかを考え、「第 24 回千葉県作業療法士学会用書式」の Word ファイルに記入をしましょう。

※演題名、所属施設名、部署名、筆頭演者と共同演者の氏名、キーワードはどちらの報告においても、必須項目となります。

- ・演題名
症例、考察、結論がわかるように、報告の趣旨を明確に表現する。
- ・所属施設名、部署名
筆頭演者の所属施設名、部署名を書く。
- ・筆頭演者と共同演者の氏名
筆頭演者：今回発表する人（一番先頭に書く）
共同演者：一緒に研究・考察した人
- ・キーワード（3 つ）
日本作業療法士協会 HP 作業療法キーワード集（2018 年 10 月改定）を参照

※以下の項目は、次ページの小見出しに分けて、抄録をまとめます。

《研究報告（例）》	《事例報告（例）》
1. はじめに	1. はじめに
2. 目的	2. 対象と方法
3. 方法	3. 結果
4. 結果	4. 考察
5. 考察	

《研究報告の書き方例》

①はじめに

何が問題となっているのか、何が説明されていないのか、なぜこの報告を行うのかを記載する。対象者への説明と同意についても記載する。文字数に余裕があれば、COIの開示についても記載する。

②目的

「はじめに」の問題に対して、どのような目的（原因解明？治療案？など）で研究したのかを記載する。報告で最も述べたい結論と対応するような文章にする。

③方法

研究期間や研究対象など、具体的な研究方法を記載する。標的問題を中心とした内容を選択して記載すると良い。

④結果

研究により導き出された結果を記載する。結果は事実のみを記載し、著者の感情や考察は記載しない。

⑤考察

「結果」で述べた内容に対して解釈し、理論的に分析して結論付けていく。

《事例報告の書き方例》

①はじめに

- 何が問題となっているのか、なぜこの事例報告を行うのかの目的を記載する。
- 報告で最も述べたい結論と対応するような文章にする。
- 介入が長期にわたる事例の場合は、ある一定期間に限定して報告する。
- 種々の問題に介入した場合は、標的問題を中心に報告する。
- 対象者への説明と同意についても記載する。

②対象と方法

- 対象者の情報を記載する。
- 介入方法について記載する。

③結果

- 介入によって得られた評価指数（数値）の変化を記載する。
- また、対象者の生活（行動）上の変化についても記載する。

※経過・結果は事実のみを記載し、著者の感情や考察は記載しない。

④考察

- 「結果」で述べた対象者の変化に関する解釈、検討課題などを理論的に分析して結論付けていく。

(3) 記載時の注意事項

- ローマ字と数字は半角、**550文字以内**で記載してください。
- 句読点は、「，」「，」「，」に統一してください。
- 略語を用いる場合には、本文中初めに完全な語を書き、その後に略語を使用してください。
- 本文は、小見出しを【 】で囲んでください。また、小見出し後は改行せずに記載してください。

【はじめに】

【目的】

【方法】

【結果】

【考察】

3. さあ、応募しよう！ **応募期間延長！：9月26日（月）まで**

- 抄録本文（Word 形式）が準備できている。
- 発表内容に個人情報が含まれていない。

項 目	注 意 事 項
氏名	A 氏、B さん等の記号情報に置換。イニシャルは使用しない。
生年月日	記載しない。
入院年月日	記載しない。必要に応じて×年などを使用。
年齢	生活年齢を記述する。内容に影響を与えない場合には 50 代前半、60 代半ば、70 代後半など年代で表記。
経過の記述	「25 歳時に結婚」「29 歳時に発症」「31 歳時に入院し 3 カ月後に作業療法を開始」など、生活年齢と経過年数・月数・日数で表記。
職歴	自動車販売、運送業、デパート勤務など、業種・職種で表記し、〇〇株式会社等の社名は記載しない。
施設名	施設名は記述せず、総合病院、精神科病院、老人デイサービスセンター、老人保健施設等の領域分類、または精神療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、訪問リハビリテーションなど、認可施設・指定サービス分類等の名称で表現。
県名・地名	A 県、B 市など、記号化した表現。

《応募の仕方》

(1) Google フォームから応募となります。所定の項目を入力し送信して下さい。



<https://forms.gle/1ByX9WkphWh6BUDd8>

【必須事項】：メールアドレス、氏名、電話番号、会員番号、演題名、分野、経験年数

【記載欄 1】

- 1 行目に演題名
- 2 行目に所属施設名、部署名
- 3 行目に筆頭演者と共同演者の氏名
- 4 行目にキーワード（3つ）。標準的な学術用語を使用してください。

【記載欄 2】

原稿本文はローマ字と数字は半角、全角 550 字以内にて記載してください。文字数が多い場合は警告メッセージが出現します。

本文は、はじめに、目的、方法、結果、考察（はじめに、対象と方法、結果、考察）などの小見出しを【 】で囲んでください。

略語を用いる場合には、本文中初めに完全な語を書き、その後に略語を使用してください。

※応募演題の採否は受付期間終了後、学会委員会で選定をさせていただきます。採択をされた演題と抄録本文の著作権は、千葉県作業療法士会に帰属させていただきます。

《査読結果の連絡時期について》

演題受け付け締め切り後、約 2～3 週間後には連絡出来る予定です。

《問い合わせ先》

ot_gakkai24@yahoo.co.jp